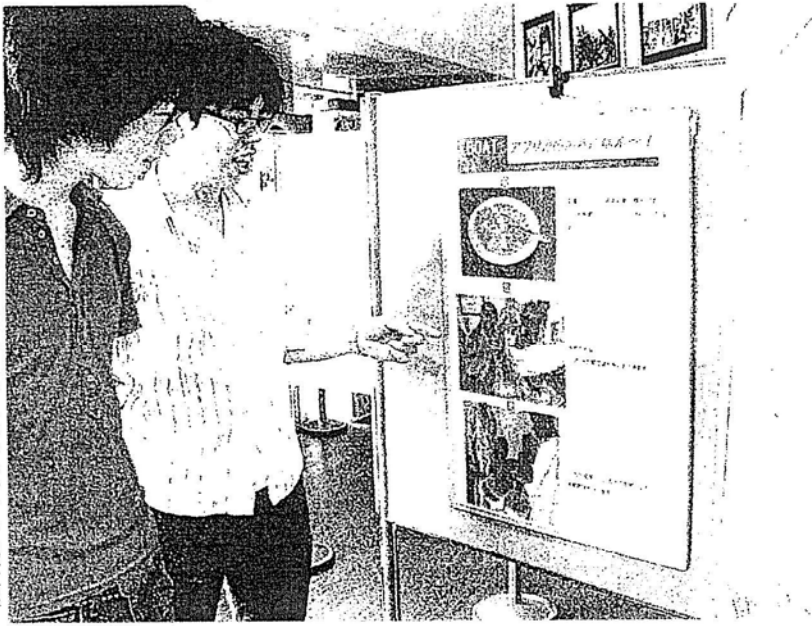


# あさごはん里親 協力訴え写真展

ピースミュージアム

スマトラ沖地震被災地支援に取り組んできた長崎大など県内の大学生、高校生のグループ「BOAT」（千早啓介代表）は三日、長崎市松が枝町のナガサキピースミュージアムで、国内外でのこれまでの活動紹介や中央アフリカ共和国で栄養失調に苦しむ子どもたちを救う「三カ月里親プロジェクト」アフリカのあさごはんへの協力を呼び掛ける写真展を始めた。二十二日まで（月曜休館）。入場無料。



アフリカでの栄養失調児支援活動への協力を呼び掛けている写真展  
＝長崎市、ピースミュージアム

## 中央アフリカの 栄養失調児支援 来月プロジェクト始まる

七月から始める「里親プロジェクト」は、中央アフリカ共和国で診療や教育、食糧配給活動などを行っている「アフリカ友の会」（本部・東京）と連携。一期（事務手続きも含めて四カ月間）ごとに四十一人の里親を全国から募集し、栄養失調児の三カ月分の朝ご飯代として二千五百円を寄付してもらおう。里親には子どもの写真や、三カ月の成長の記録として体重グラフを送る予定という。写真展では、同共和国での暮らしなどを三十点のパネルや映像で紹介。現地のアクセサリなどチャリティー販売もしている。千早代表（三巴）は「一人当たりの負担を軽くすることで大勢の人がリレーし、活動を長く続けることができる」と思った。気軽に参加してほしいと呼び掛けている。問い合わせはBOAT（電話090・1168・08651）。